

# 在鸣门 第144期

## 初めての東北

今年のゴールデンウィークの休みに、初めて日本の東北地方に遊びに行きました。日本の東北地方は、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県を指します。今回、私はその中の4県を訪れました。そこで、下記地図の4つの場所を詳しくご紹介させていただきます。

## 初游东北

今年的五一假期，我初次前往了日本的东北地区游玩。日本的东北地区包括青森县、岩手县、秋田县、宫城县、山形县、福岛县。本次，我前往了其中的4个县。朋友们，接下来，我将向大家具体介绍下图中的四个地方。



注：

日本の行政区画の「県」は中国の「省」に相当します。

注：

日本行政区划中的“县”与中国的“省”相当。

★岩手県・花巻市／岩首县・花卷市



「雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ丈夫な体を持ち……そういうものに、私はなりたい」。これは、日本の有名な詩である「雨にも負けず」の中の詩句であり、作者が日本の著名詩人—宮沢賢治です。宮沢賢治は日本昭和時代早期の詩人、童話作者、作曲者、社会活動者です。彼の故郷はここ岩手県の花巻市です。

花巻市の胡四王山の上にある「宮沢賢治記念館」はさまざまな映像や資料で多彩な分野に及んだ宮沢賢治を紹介しています。記念館の近くには、「宮沢賢治童話村」もあります。そこは、子供達の遊ぶ所でもあり、大自然の教室でもあります。子供連れのお客さんに合う場所だと思います。

童話村ではない普通の街でも、大自然の要素を含んだデザインがあちこちで発見できます。まさに童話王国に居るような気がしました。



童話村の教室/童话村的科普教室

“不畏风，不惧雨，冬抗寒，夏耐热，身强体壮……我想成为这样的人”。这是日本著名的诗歌《无畏风雨》中的诗句。此诗的作者是日本国民级诗人—宫泽贤治。宫泽贤治是日本昭和时代早期的诗人、童话作家、作曲家、社会活动家。而宫泽贤治的出生地正是岩手县的花巻市。

位于花巻市胡四王山上的“宫泽贤治纪念馆”通过丰富的影像和资料，介绍了涉猎广博的宫泽贤治的生平事迹。在纪念馆附近，有“宫泽贤治童话村”。童话村既是儿童玩耍的地方，也是大自然的科普教室，非常适合带小朋友的游客前往。

无论是在童话村，还是在花巻市的普通街道，都可以发现很多包含了大自然元素的城市设计，自己仿佛置身于童话王国。





★宮城県・仙台市／宮城県・仙台市



皆さん、左上の写真を見てなんか親近感が湧きませんか？そうです。これは中国著名な文学者魯迅の像です。この像は、仙台市にある東北大学の片平キャンパス内にあります。ここは魯迅の日本での留学先なのです。



朋友们，看到左上方的照片是否顿感亲切？是的，这是中国著名文学家鲁迅先生的肖像。这座雕像位于仙台市的东北大学的片平校区。这里就是鲁迅先生曾在日本留学的地方。



右上の写真の建物は、魯迅が学んだ場所で、「魯迅の階段教室」といいます。中国から多数の方々がここを訪れているということです。残念ながら、私が行った時、休館日だったので、中には入れませんでした。

キャンパス内を歩いているうちに、100年以上前に魯迅がここで留学していたことや、魯迅が書いた「藤野先生」という文章等が思い出され、感無量でした。



右上方照片的建筑是鲁迅曾经听过课的教室，名为“鲁迅的阶梯教室”。据说目前有很中国游客前来此地参观。遗憾的是，我前往之日恰巧为闭馆日，因此我没能进到教室里参观。

我漫步在片平校园内，想起100多年前鲁迅先生曾在此地留学生活；想起他的文章《藤野先生》等等，内心感慨万千。

## ★山形県／山形県



私は中国の東北の黒竜江省の佳木斯大学で勉強していたため、東北というと「雪国」という印象です。そして、今回上記の写真の雪山に来た時、「本当に東北だ！東北だ」と嬉しく叫びました。ここは、山形県の中央部にある月山という山です。友達のご紹介によると、ここは湯殿山、羽黒山と一緒に「出羽三山」として知られ、山岳信仰者の修行の場所で、年々多くの修行者や観光客が訪れているそうです。

標高約 800M の山の上の白い世界を歩くと、目が段々痛く感じてきて、私はサングラスを取り出しました。進行中、私達は遠い所の雪山を眺めたり、新緑の木や落ちていた葉っぱや実を鑑賞したりしていました。他のお客さんと会う時、互いに挨拶をし、仲間がここに居るなと感じました。



我是在中国东北的黑龙江省佳木斯大学念的大学。说起我对东北的印象，那就是“雪国”。当我来到上图雪山的时候，我不禁欢呼：“哇！真的是东北！东北啊！”。这里是位于山形县中部的“月山”。月山的最高海拔为 1984M，与另外两座名为“汤殿山”、“羽黒山”的高山并称“出羽三山”。“出羽三山”自古以来就是山岳修行者的修行之地，每年都有修行者和游客纷纷慕名前来。

行走在海拔约 800M 的白雪皑皑的山上，慢慢地眼睛开始有刺痛感，于是我拿出墨镜护眼。行进途中，我们时而眺望远处的雪山，时而欣赏初春时节的新绿树木，或者低头寻找掉落在雪地上的树叶或果子。遇到其他游客，我们会互打招呼，不禁有同伴就在身边的感觉。





★福島県・会津若松市／福島県・会津若松市



鶴ヶ城城跡公園内／鶴城城址公園内

東北旅の最後の所は、鳴門市の国内親善交流都市である会津若松市にしました。

私は会津若松市の「鶴ヶ城・城跡公園」を訪れました。「鶴ヶ城」は1934年に日本の国の史跡に指定され、「若松城」、「会津城」とも呼ばれています。雨後の公園は空気が倍に新鮮であり、観光客も一杯で、賑やかな場所でした。



东北之旅的最后一站，我选择了鸣门市的国内亲善友好城市-会津若松市。

我来到了会津若松市的“鹤城・城址公园”。“鹤城”又名“若松城”、“会津城”，1934年成为日本指定的国家历史遗迹。雨后初晴，公园空气倍感清新，人流不断，园内一派热闹景象。



鶴ヶ城での松江豊寿の紹介  
鶴城内关于松江丰寿简介

鳴門市と若松市の縁を結んだのは、左の人物-松江豊寿のことを話さなければなりません。松江豊寿は、会津若松市の生まれで、当市の第九代市長でもあり、第一次世界大戦時、鳴門市に設置された板東俘虜收容所の所長を務めました。松江所長の寛容博愛の精神でドイツ兵俘虜と現地の住民との国境を越えた交流を促し、俘虜による「第九」のアジア初演も成就し、奇跡のような歴史逸話が出来たのです。

说道鸣门市与会津若松市的结缘，不得不提到左边照片上的人物-松江丰寿。松江丰寿出生于会津若松市，曾任会津若松市第九任市长。第一次世界大战时期曾任鸣门市板东俘虏收容所所长。在他宽容博爱精神的鼓舞下，收容所的战俘和当地民众实现了超越国境的交流，贝多芬第九交响曲的亚洲首演亦在该收容所实现，奇迹般的历史佳话由此诞生。



約一週間の東北旅行はあっという間に過ぎてしまいました。上述したところの他に、参加した地元の祭りや、出会った人々、広々とした景色等、今でも覚えています。

ここは東北だという嬉しさも、今でも覚えています。

大约一周的东北之旅转眼结束。除了上述见闻之外，我还记得我参加过的当地节日、我邂逅的每一个人，还有那宽广辽阔的景色。

我也记得初到东北之时的激动与欢喜。

部门：鸣门市观光振兴课

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746／FAX：088-684-1339

E-mai：[kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp](mailto:kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp)

编辑：翟羽佳